

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）
TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367
〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

相談支援事業のこれから

平成24年4月より相談支援の充実が図られるように法律が改正されます。

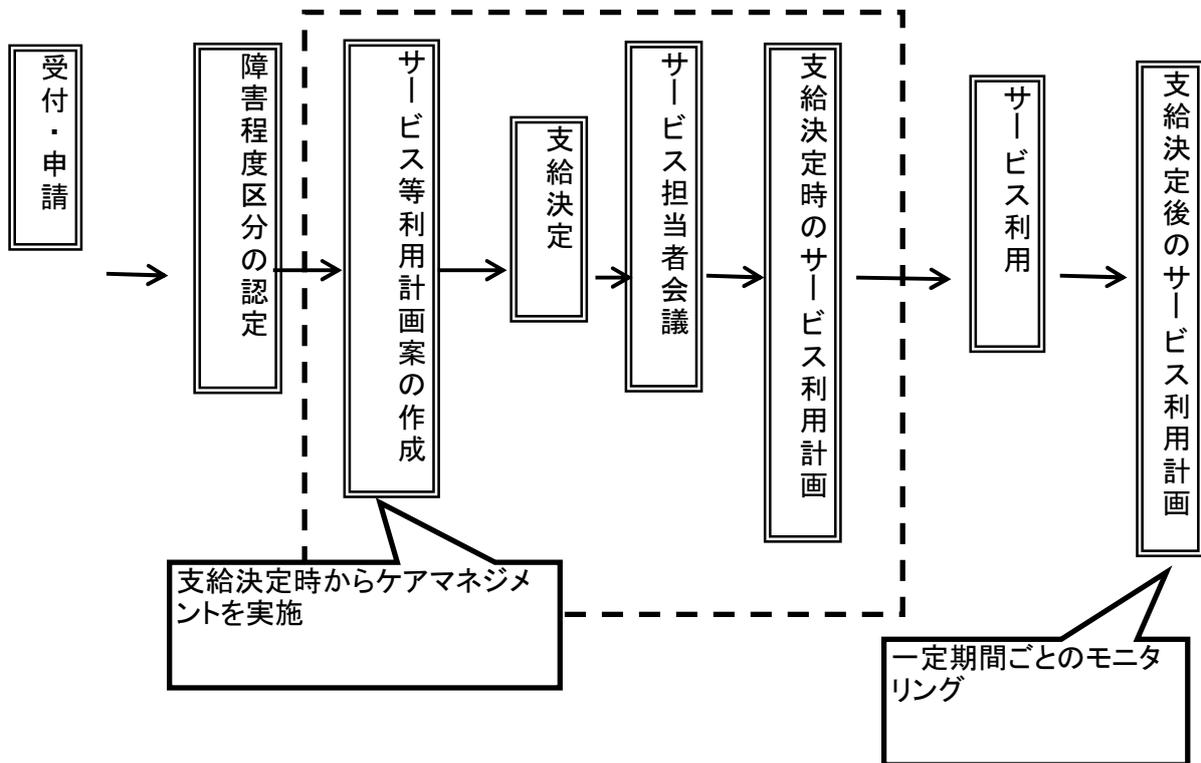
○相談支援体制の強化

市町村に基幹相談支援センターを設置、「自立支援協議会」を法律上位置付け、地域移行・地域定着支援の個別給付化が新しいところです。

市町村が指定した「指定特定相談支援事業者」（計画作成担当）がサービス等利用計画案を作成しモニタリングも行います。基本相談支援も行います。

○支給決定プロセスの見直し

サービス等利用計画作成の対象者の大幅な拡大



千葉県精神障害者地域移行支援事業 進捗状況

◆第3、4回野田圏地域移支援協議会 開催

平成24年1月25日(水)と2月22日に協議会が行われ、事例の進行状況の報告や各事業所等からの近況が語られました。

また、ある病院では地域移行支援事業についての勉強会を開催して下さいました。45名の参加者でアンケートに答えてくださった方の大半は事業を理解できたという回答でした。

病院は様々な職種で構成されていて、事業の内容や地域の現状を理解していただくためには、このような機会が必要だと実感しました。今後、他の病院へも働きかけていきたいと思えます。

◆4月から「地域移行・定着支援」は「指定一般相談支援事業」となります。

こころネット・はーとゆう研修会 報告

★「いきてるだけで100点満点」

講師:鈴木 せい子氏 (鈴木助産院院長)

平成24年1月29日(日)開催 当日参加者: 名



これまで33年間助産師として「見て」「触れて」きたことを語っていただきました。

先生から大きな2つのメッセージを頂きました。

□待ち望まれて生まれてきた

産むリスクより、あなたを迎える喜びがそれ以上だったこと。

子どもは誰からでもいいから「生まれてきてくれてありがとう」って言われたいんです。

□生まれる力を持ち備えて生まれてきた

一番頑張ったのは赤ちゃん、あなたですよ！ということ。選び取って生まれてきた。

【乗り越えなければならない関門】

第1関門: 命の始まりの軌跡

・卵子と精子が出会う確率...受精卵の着床の確率。百万の卵子が厳選された40万の卵子のその一つが自分の半分。精子は3億あり、その一つが自分の半分。

第2関門: 体内で280日間の成長

・砂粒の半分くらいの大きさ(約0.2ミリ)の受精卵から280日間で約2000倍の大きさ、約60億倍の重さになる。

第3関門: 生まれてくる陣痛のストレスを乗り越えて生まれてくる

・赤ちゃんにとっての呼吸の働きをする臍帯が陣痛によって働きが弱くなり、首を絞められるような苦しさがある。

第4関門: 最後に待っている大きな試練

・産声のエネルギーのすごさ。4500個の空気袋を吸い込み胎盤呼吸から肺呼吸に切り替わる瞬間の声が産声。

～ 一番頑張ったのは赤ちゃん。力を振り絞って生まれてきた ～

のだネット 評価部会を終えて

平成24年2月6日(月)中核地域生活支援センターの評価部会が開催されました。

野田市との連携状況や今後取り組んでいく予定などが確認されました。現在はシャッターが下りている町が増えていることが話題となり、野田でも大型の店舗が閉鎖され買い物難民の問題がでているので、消費者生活センターと連携していく事を報告されました。



趣味の部屋

今回は小説や絵をインターネットにも投稿している方にお願いをしました。

ペンネーム；
初音軍さん

のだネットさんには
障害者就業・生活支
援センターを紹介し
てもらって、現在、就
労に向けて活動を始
めています！

だんだんと世間に慣
れるようにしたいで
す。



「私の作品も載せては
しい！」という方大歓迎
です！

絵・俳句・詩などなど
なんでもOKです。
のだネット五十嵐までご
連絡下さい。

